



受賞作品発表

万葉のみち青少年文芸選奨・ 香々美川文芸選奨

第19回万葉のみち青少年文芸選奨と第9回香々美川文芸選奨に寄せられた
多くの作品の中から入賞者が決定しました。
(敬称略)

第19回 万葉のみち
青少年文芸選奨受賞作品

《現代詩部門》

【小学生の部】

◆入選・佳作

該当なし

【中学生の部】

◆入選

該当なし

◆佳作

「大切なことただひとつ」

上齋原中学校二年 片田 真琴

地球が一回転した。

何が起こったんだらう。

そうだ！

私はスキーをしていたんだ。

板を横にずらして止まろうとしたら

一回転したのは

地球じゃなくて私だった。

私はなぜか笑っていた。

とたんに左手の親指がしびれ出す。

手ぶくろをぬいだ。

「指が・・・。」

ぐにやぐにやだった。

私は何が何だかわからなくなった。

目の前に医者がいた。

「治るのに二―三週間かかります。」

「えっ」

もうすぐ国体。

練習もしないといけないのに・・・

頭が真っ白になった。

あと何日で治る？

問い続けた。

もどかしい。

いたたまれない。

早く滑れるようになりたい。

今まで滑れることが当たり前で

気付こうとしなかった。

本当にスキーが好きなんだなあっていう

一番大切なこと。

【青年の部】

応募なし

《短歌の部》

【小学生の部】

応募なし

【中学生の部】

◆入選

鏡野中学校二年 森 光治

いろいろと表情変える夏の空ギラギラ笑
うしガミガミ怒る

◆佳作

鏡野中学校三年 瀬島 綾乃

夕焼けは短い時間のその中で世界を全て
紅で飲み込む

上齋原中学校二年 石田 琢朗

つかみどり魚を捕ろうと手を伸ばすその
瞬間に魚は消えた

【青年の部】

◆入選

該当なし

◆佳作

鏡野町上森原 池田 亜加理

おかえりとなかよし風車に灯のともる
故郷離れはじめての夏

《俳句の部》

【小学生の部】

◆入選

南小学校二年 井上 嘉一郎

くわがたがのしのしのしのおもたそう

◆佳作

南小学校二年 西村 かほ

かみなりのたいこやぶれておおあめだ